

第 402 回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナーが開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

記

日時：平成31年2月26日(火) 14:35～16:05

場所：広島大学 総合科学部 J306 教室

演題：比較ゲノム生物学から探る頭足類(イカ・タコ類)の
新奇性と進化

演者：吉田 真明 氏 (島根大学・隠岐臨海実験所)

《講演要旨》

海洋生物にはその生物がもつ特有の進化的新奇性が多く見られる。例えば、タコブネ類(Argonauta)は、軟体動物がもつ外殻(貝殻)を失ったタコ類の1種であるが、腕から自ら貝殻を分泌する能力をもつ。タコブネは一見殻を再進化させたように見えるが、これはイギリスの古生物学者ルイス・ドロー(1857-1931)が提案した「進化の過程で一度失われた形質は二度と現れることはない」という一般則“ドローの法則”に反している。演者らは殻を形成する腕のトランスクリプトームと殻のプロテオーム解析から、タコブネが分泌する貝殻形成タンパクを同定し、他の軟体物とよく似た殻形成遺伝子群が用い